

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月14日			
平成15年度	事業コード	32630	電話	042(769)8270
担当部課名	土木部	下水道管理	課	施設 班
事務事業名	公共下水道ポンプ場維持管理費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます。	事業開始年度
基本施策名	第6節	下水道の整備と管理	63以前年度
施策名	第3施策	下水道管理の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

下水道法第3条（管理）

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	その他の経費	市単独事業	なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
汚水は、原則的に自然流下で排除することが望ましいが、地形的に自然流下による汚水排除ができない地域では中継ポンプ場が必要となり、施設機能の確保及び機器の延命化を図る為、計画的、予防的な維持管理が重要である。		公共下水道整備済区域	
		対象数	
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
公共下水道ポンプ場維持管理費 192,054,000円平成14年度予算額			
内訳	機械設備保守点検委託費	25,259,000円機械設備保守点検、修繕費等
	電気設備保守点検委託費	28,120,000円電気設備保守点検、修繕費及び電気設備保安委託費等
	施設管理委託費	86,367,000円ポンプ場維持管理費、警備委託、樹木管理委託費等
	その他維持管理費	52,308,000円電気料金、通信費、消耗品費等
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	無し	無し	
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

				15,16年度は目標値				
	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
成果指標				12	13	14	15	16
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	167,395	174,658	192,054	184,140	189,334
	人員・時間数	3人	3人	3人	2人	2人
	人件費	26,550	26,550	26,550	16,780	16,780
	その他経費	0	0	0		
	合計	193,945	201,208	218,604	200,920	206,114
特定財源		167,395	174,658	192,054	184,140	189,334
対象数						
対象の単位あたり経費		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	供用開始後、24時間稼働している機械及び電気設備の正常な状態を保持する為、適正な保守管理を実現している。						
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・市民や社会のニーズにかなっている					
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/>	・状況の変化(対象や内容)に対応している					
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/>	・当初設定した事業目的が達成されていない					
		説明	<input type="checkbox"/>	・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある					
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位の施策、計画目的達成のために有効である					
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/>	・期待された成果が得られている					
	C : 有効ではない		説明 適正な維持管理を行うことで、施設設備の延命化が図れる。						
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・予算や人員に見合った効果が得られている					
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/>	・他市と比べてコストや効率性が優れている					
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/>	・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている					
		説明	<input type="checkbox"/>	・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない					
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である					
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/>	・受益者の費用負担は適正である					
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/>	・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)					
		説明	地形的に自然流下できない地区に汚水ポンプ場施設は必要不可欠であり、適切な維持管理を行うことで、安定した生活環境を供給できる。						
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額						
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 各施設毎にその機能維持を図る為、定期的な保守点検を実施し、適正な維持管理に努めている。		手段	整備区域の拡大並びに供用年数の経年に伴い、管理施設が増加する中で経常経費も必然的に増加してきている状況であるため、削減が難しい。					
			削減額	千円					

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
	今後、耐用年数を迎える機器等の改築、更新時期を迎えるにあたり、適正且つ効果的な維持管理に努めてきている為、実際の設備機器の延命化が他市町と比べ効果的に反映されていると思われる。	
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	ポンプ場施設の管理において計画的、効率的な点検等を実施することにより設備機器の機能確保、延命化が図れ、故障予知や異常個所等が発生した場合など、迅速に対応することができる。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--